ラスール金沢文庫コロナウイルス対策

●現在行っている対策

１、職員は出勤時、職員玄関にて手洗い、うがい、検温の実施。

それに加え、現場に入る前にマスクの着用をする。

検温で 37.5℃以上もしくは 37.0℃以上＋症状（咳、咽頭痛、強い倦怠感、味覚異常、嗅覚異常、下痢など）がある場合、現場には行かずに事務所（医務）に連絡し、出勤停止。検温に関しては休日も実施し、検温表に記入していく。

※出勤停止後の対応は後述する。

２、食事配膳はユニット入口の外側までとし、栄養科職員はユニット内には立ち入らない。

ユニット玄関外側にカートを設置し、そこに食事を置いていく。

下膳もカート上のやり取りとする。

３、ご家族の面会は禁止とする。

預り金は原則、施設の玄関にてやり取りする。

特別な事情がある場合は、施設管理者と相談の上、現金書留で承る事もある。

４、業者の施設内への立ち入りは禁止とする。

ただし、1 階の自動販売機の補充のみ可。入る前に、職員と同じように手洗い、うがい、検温をしてもらい、前述の条件に該当する場合は立ち入りをお断りする。

おむつ類、タオル類、リネン類の搬入、搬出は職員で行い、業者は施設出入り口の外側までとする。

５、ボランティアや訪問販売は中止とする。

６、１６時を目安に全館消毒、清掃を実施する。

手すり、テーブル、椅子、トイレ、ドアノブ、エレベーターのボタンなど、手が触れる場所を中心に行う。　※全館放送にてＢＧＭを流し、掃除を意識付ける。

７、内部研修は中止とする。

代わりに、レポート記入、提出などの実施方法で対応する。

８、職員会議は中止とし、各種会議や伝達事項を文書にて回覧する。

９、各委員会、部門会議、運営会議は開催するが、席の間隔を大きく開け、実施場所も換気しながら行う。

10、ショートステイ新規受け入れに関しては、退院後１ヶ月以上期間を設けて利用して頂く。

●関係者にコロナウイルスが発生した場合

１、お客様が陽性

・当該お客様を含む協力ユニット全てのお客様を居室対応とする。

・当該お客様のユニットを含む協力ユニットの全ての職員は、２週間の自宅待機とする。

・当該お客様の居室の出入りの際は、マスク、手袋、防護服の着用、消毒を徹底する。

２、ユニット職員が陽性

・当該職員のユニットを含む協力ユニットの全ての職員は、２週間の自宅待機とする。

３、職員の家族が陽性

・当該職員は、２週間の自宅待機とする。

４、栄養科職員が陽性

・当該職員及び濃厚接触者と判断された職員は、２週間の自宅待機とする。
それにより８名以上が自宅待機となった場合は、お客様の食事は近隣の業者に外注とし、弁当などで対応する。

→いずれの場合も、自宅待機中に何も症状が見られなかった場合のみ、出勤再開とする。

●職員または職員の家族がコロナウイルスの検査以前に体調不良になった場合もしくは検温で 37.5℃以上もしくは 37.0℃以上＋症状（咳、咽頭痛、強い倦怠感、味覚異常、嗅覚異常、下痢など）がある場合

・３日間の出勤停止とし、毎日熱や症状の経過を追い、施設へ報告する。

・解熱剤を飲まずに２日間、熱が上がらない、症状がない場合は、施設にその旨を連絡し、許可が出次第、出勤再開とする。

以上